

経営比較分析表（令和5年度決算）

山口県山陽小野田市 厚狭駅南口駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A 3 B 1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	届出駐車場 附置義務駐車施設	広場式	24	

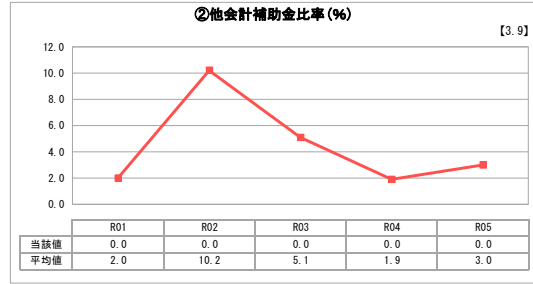
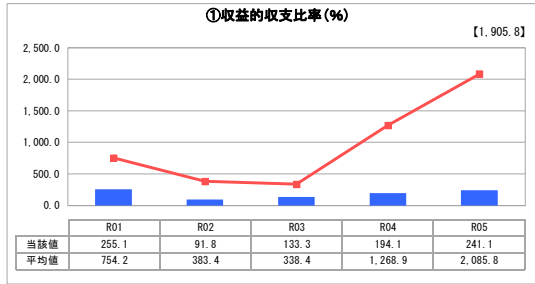
立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
駅	無	2,500
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
190	100	無

グラフ凡例

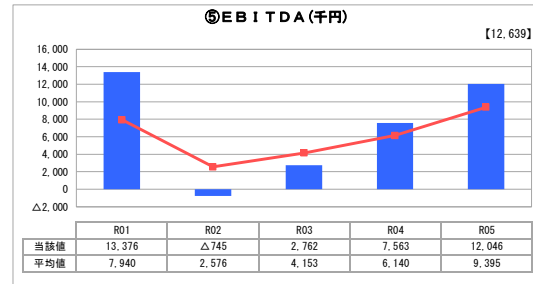
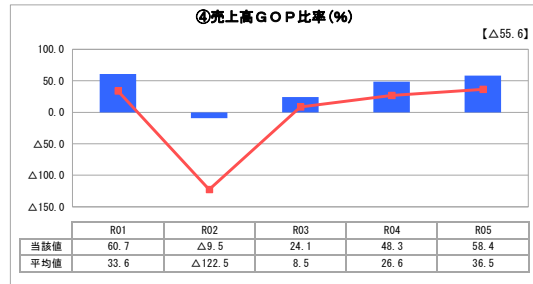
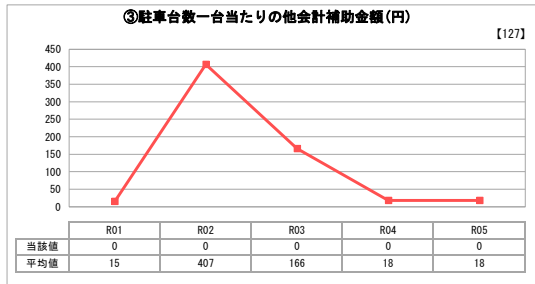
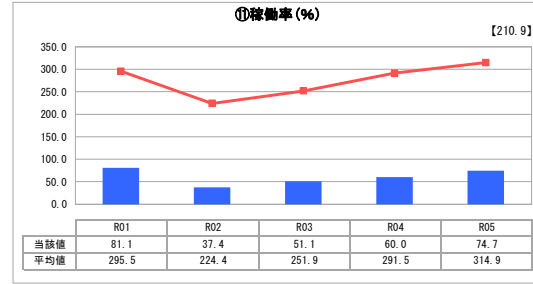
- 当該施設値(当該値)
- 類似施設平均値(平均値)

【】 令和5年度全国平均

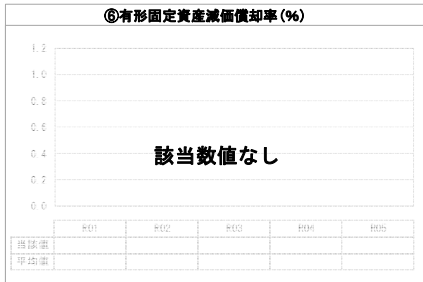
1. 収益等の状況



3. 利用の状況



2. 資産等の状況

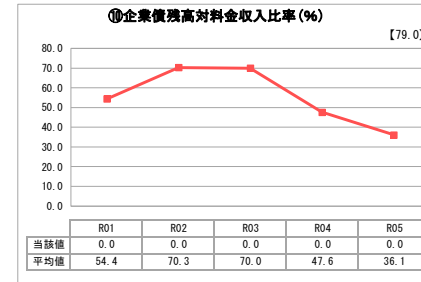


⑧敷地の地価(千円)

135,789

⑨設備投資見込額(千円)

186,625



分析欄

1. 収益等の状況について
 当駐車場は、一般会計からの繰り入れをせず、料金収入で経営しており、経営状態は安定している。令和5年度においても駐車場の経営状況はさらに改善した。新型コロナウイルス感染症の影響が緩和され、人々の外出機会が増加し、料金収入は安定的に増加した。『収益的収支比率』、『売上高GOP比率』および『EBITDA』は令和4年度の回復傾向を維持しつつ、さらに向上した。

2. 資産等の状況について
 駐車場に関して、コロナの影響で一時的に収益が落ち込んだが、収益は改善し、現在は安定した経営状況となっている。利用者が増加したことにより、休日には満車となる場合もあるため、今後は駐車区画の増加や舗装工事などの施設改修を計画的に実施し、利便性の向上に努める。

3. 利用の状況について
 駐車場の利用状況は、コロナの影響から徐々に回復していることがデータから確認できる。令和5年度の稼働率が令和4年度に比べ約15%改善し、収益も安定していることから、利用者の戻りが見受けられる。休日には満車になることが多いが、平日は利用が少ないため、平日の利用促進が今後の課題である。

全体総括
 新幹線駅併設の駐車場は、コロナの影響から回復し、令和5年度には収益も安定している。今後の管理運営では、増加した休日の利用者に対応するための駐車区画の増設や舗装工事などの施設改修が重要である。また、平日の利用促進を図ることで、全体の稼働率と収益のさらなる向上を目指す。